

特定非営利活動法人日本放射線腫瘍学研究機構 (NPO-JROSG)

平成 21 年度 第 2 回理事会議事録

1. 開催日時：平成 21 年 9 月 19 日（土） 15：20-16：30
2. 開催場所： 国立京都国際会館（JASTRO会場）Room 664
3. 出席者（委任状提出を含む） 理事：14名 監事：2名
理事：秋元哲夫、小口正彦、加賀美芳和（委任状）、中野隆史、西村恭昌、早川和重、古平 毅、鹿間直人、戸板孝文、永田 靖、根本健二（委任状）、前林勝也、光森通英
監事：池田 恢、田中良明、
4. 欠席者
なし
5. 審議事項
 - (1) 第一号議案 議長ならびに議事録署名人の選任
 - (2) 第二号議案 理事長ならびに副理事長の選任について
 - (3) 第三号議案 新体制と役割分担について
 - (4) 第四号議案 運営方針について
 - (5) 第五号議案 会員の国際学会派遣について
 - (6) 第六号議案 教科書の発刊について
 - (7) 第七号議案 その他
6. 議事の経過の概要及び議決の結果
 - (1) 第一号議案 議長ならびに議事録署名人の選任
議長に三橋紀夫理事長を議長に選出した。また、議事録署名人に前林理事ならびに光森理事を選出した。
 - (2) 第二号議案 理事長ならびに副理事長の選任について
理事長に三橋理事が、副理事長に西村理事ならびに早川理事がメール会議で承認されたとの報告が秋元理事からあり了承された。
 - (3) 第三号議案 新体制と役割分担について
新しい理事の役割分担を以下のように決定した。小口理事は教育：広報委員会委員長に専任してもらうことになった。また、各委員会の規程を見直して、整合性が取

れるように改訂作業をしてもらうことにした。

効果・安全性検討委員会： 古平理事、戸板理事、前林理事

臨床試験審査委員会： 鹿間理事（委員長）

施設選定委員会： 光森理事

運営委員会： 永田理事、根本理事

教育・広報委員会： 前林理事

部位別委員会

脳神経系委員会： 前林理事

頭頸部腫瘍委員会： 古平理事

消化器系腫瘍委員会： 根本理事

肺縦隔腫瘍委員会： 永田理事

乳腺腫瘍委員会： 鹿間理事

婦人科腫瘍委員会： 戸板理事

小児腫瘍委員会： 鹿間理事

(4) 第四号議案 運営方針について

- 1) 財政的基盤をどのように強固にするかについて意見交換を行った。
- 2) 臨床試験中のプロトコルが減少しており、各部位別委員会で早急に臨床試験のプロトコルを作成するよう要請することにした。
- 3) データセンターを独自に持つ必要があることが再確認されたが、現在の財政基盤では困難なため、既存のデータセンターに依頼すべく検討することになった。
- 4) 精度管理などの事業も本機構として出来ないかとの意見があった。
- 5) 製薬メーカーからの援助を受けるべく、市販後調査や薬剤を組み込んだ臨床試験の可能性について検討することになった。（ゾメタ、ストロンチウム、FDGなど）
- 6) 部位別委員会の中に緩和医療を扱う放射線治療委員会を立ち上げてはとの意見があり、検討の結果了承されたため、鹿間理事を中心に委員会を立ち上げることになった。
- 7) 機構の会員が科学研究費など公的基金を獲得するよう努力すべきとの意見があった。

(5) 第五号議案 会員の国際学会派遣について

運営委員会委員長の秋元理事から国際学会への会員の派遣など、会員への研究の奨励ならびに経済援助をしてはとの提案があり承認された。具体的な規約については運営委員会で検討してもらうことになった。

(6) 第六号議案 教科書の発刊について

昨年第1回の編集委員会を開催したものの進展がなかったが、南江堂から具体的な項立てを作成して提出して欲しいとの申し入れがあった。そこで、運営委員会を中心に JASTRO と協議の上、具体的な作業に入ることが了解された。

(7) 第七号議案 その他

小口教育・広報委員会委員長から一般人の啓蒙のためにイラストを用いた放射線治療の紹介をホームページに掲載すべく作業を進めているとの報告があった。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成 21年10月26日

議長

三橋 忍夫



議事録署名人

前林 勝也



議事録署名人

吉野 通策

